

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 広島県安芸郡熊野町立熊野東中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 731-4213
広島県安芸郡熊野町萩原1-23-1

E-mail higasi_jh@piano.ocn.ne.jp

Website http://www15.ocn.ne.jp/~higasi_jh/

児童生徒数 男子 251 名 女子 179 名 合計 430 名
 児童・生徒の年齢 13 歳～15 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

○第1学年の取組

・筆作り

熊野町商工会議所の事業とタイアップした取組である。熊野町は筆の生産が全国シェアの8割を超える筆の都である。1月18日(月)、地域の伝統工芸である「筆」について、伝統工芸士から作り方を学び、マイ筆を制作した。



・コース別地域学習

日本や熊野の文化について、諸外国に発信するためのコンテンツとなるよう、自ら選択したコースを体験する。茶道、華道、着付け、筆、太鼓、手話、絵手紙の7コースがある。9月中旬から10月末にかけて、いずれも地域の方をゲストティーチャーとして招き、学習を進めた。取り組んだ成果は、10月31日(土)の文化祭で発表した。



○第2学年の取組

・大使館訪問

12月1日(火)～12月3日(木)の3日間、修学旅行で東京方面に行った。グループに分かれて大使館を訪問し、筆作りをはじめとする熊野の伝統や文化をPRする取組である。4～8人のグループに分かれて、16カ国の大使館を訪問し、英語でPRした。



・職場体験学習

7月6日(月)～10日(金)の5日間、熊野町内の各事業所で職場体験学習を行った。伝統的な筆を生産する事業所もあれば、化粧筆を生産している事業所もある。実際の生産現場から、筆作りを体験したり、流通の実際を学習する。筆産業だけでなく、どのような事業所が存在するのかを理解し、自分と地域との関係を考えながら、将来を見据える機会となった。



○第3学年の取組

・絵手紙

熊野町には「筆の里工房」という施設があり、この施設が主催する「ありがとうのちょっと大きな絵手紙大賞」に作品を応募した。自分に関わる人や物に感謝し、その気持ちを熊野の筆を使って書き表していく。5月29日(金)、6月11日(木)の2日間、筆使いや書き方について、地域の方をゲストティーチャーに招いて、教えていただいた。



・郷土料理「八寸」

「八寸」は熊野の郷土料理で、直径が八寸（約24cm）の器に盛られたことからこの名前がついている。ハマチやブリのアラ、豆腐を入れるのが特徴で、祭りや冠婚葬祭など人の集まるときによく作られていた。このような伝統的な郷土料理の調理を体験し、継承するために、12月14日（月）～18日（金）、地域の方々から教えてもらいながら「八寸」を作った。



地域の方々を招き、自分たちの作った「八寸」でおもてなしをし、地域の方々とのつながりが密になった取組であった。

○全学年の取組

・彼岸舟・東中ソーラン

9月12日（土）の体育祭の取組において、熊野の伝統行事「彼岸船」を体験し、「東中ソーラン」を全校生徒で作り上げる。

「彼岸船」は、彼岸である筆まつりの日に引くもので、約80年前から行われており、今では地元保存会の方々により、筆まつりの一環として盛大に行われている。本校の「彼岸船」も保存会の方々の協力で飾り付けられる。その「彼岸船」を、体育祭で筆まつりと同様に披露する。



「東中ソーラン」は、生徒が築きあげてきた本校の伝統であり、代々、上級生が下級生に教え、受け継がれてきたものである。全校生徒が心をついにし踊り、体育祭で発表した。また、町民体育大会でも地域の方々に披露した。



「彼岸船」の飾り付けや「東中ソーラン」の法被などは、地域の方々の募金によってまかなわれており、地域の支援がなくては成り立たない取組である。

○教員の海外交流

教員も積極的に海外との交流に努め、平成27年度は韓国仁川科学高等学校との理科における共同研究を行った。テーマは、「批判的思考力を育成する理科学習指導に関する研究」で、両国共通の質問紙調査を実施し、韓国教職員との実践交流を行った。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）